

価格転嫁実現へ



発行所
株式会社食料新聞社
〒111-0053
東京都台東区浅草橋5-9-4 MSビル2F
電話03(5835)4919代表
03(5835)4133総務
編集印刷発行人 平野康治
購読送料共1カ年31,020円
(消費税2,820円含む)
大阪支社電話06-6531-5741
福岡支局 092-781-8441
FAX 03-5835-4921

9月は「価格交渉促進月間」

経済産業省

政府は、昨年9月から価格交渉が頻繁に行われていた時期である9月と3月を「価格交渉促進月間」と定め、発注側企業と受注側企業の価格交渉、ひいては価格転嫁を促進している。

経済産業省は8月24日付で、関係事業者団体代表者に2年目となる9月の価格交渉促進月間への協力要請を実施。関係企業に対して、要請文の趣旨を周知・徹底するように通達した。

要請文は経済産業大臣名で、7月に改正した下請中小企業振興法「振興基準」に則り、受注側中小企業との間で価格交渉や、価格転嫁に積極的に対応するよう要請している。

政府が掲げる方針によると、中小企業における買上げを実現するためには、下

請中小企業が付加価値を確保できるよう、コストの適切な価格転嫁が必要不可欠。特に昨今、原材料価格やエネルギー価格、労務費等が大きく上昇しており、下請中小企業へのしわ寄せを解消し、これらコスト上昇による負担をサプライチェーン全体で適切に分担するためにも、価格転嫁の実現は喫緊の課題となっている。

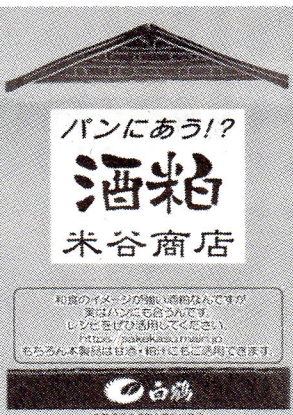
今後の施策として、9月中旬以降、受注側企業に対して、発注側企業との価格交渉の状況について、アンケート調査、下請Gメンによる重点的なヒアリングを行う。このフォローアップ調査結果に基づき、受注側中小企業からの評価において、価格転嫁や価格協議の実施状況が良好でない個別の発注側企業の経営者に対し、事業所管官庁から下請

中小企業振興法に基づき「指導・助言」による注

海外原料、海外完成品

進行する円安の影響が大きい。品目に限らず一律に価格改定が実施される。主に業務用生薬は7月以降から実施され、小売向け生薬は10月から価格改定が実施される見通しだ。売上の

03-3315-1234



米谷商店
売上一部を育英会へ寄付
酒粕伝承プロジェクト開始

パンに合う!? 酒粕 (仮デザイン)

「二トースト」。酒粕をバターと一緒に電子レンジで温めて溶かし、パンに塗ってほちみつをかけるだけで、芳醇な香りが楽しめるハニートーストになる。伝統的な日本の発酵食品の文化を絶えることのないようにするため、従来の顧客に加え、同じ発酵食品であるパンを販売しているベーカリーショップなどにも提案していく。

有限会社米谷商店（米谷耕一社長、神戸市灘区）は、「酒粕の未来」と「日本食文化を引き継ぐ子供たちの未来」を希望するものにしたという思いから、売上の一部を一般財団法人あしなが育英会に募金する「酒粕伝承プロジェクト」を立ち上げた。

「酒粕伝承プロジェクト」活性化の第一弾として「パン」に合う!? 酒粕500gを10月初旬から発売する。内容は、同社が長年販売

してきた通常の板粕よりも溶けやすく便利な「徳用酒粕500g」と同じで、何かを添加している訳では無い。

しかし「パンに合う」と商品名に入れて発売すること、酒粕の固定概念を破り、色々な料理に使える魅力的な食品と思ってもらえるきっかけ作りを目指していく。発売のきっかけとなったのは原料酒粕の仕入れ元である白鶴酒造（神戸市東灘区）のレシピ「酒粕ハ

同社は今後、酒粕の売上の一部を一般財団法人あしなが育英会へ寄付していく。米谷社長は「日本食文化の継承と家族の健康に貢献することが当社の目標。経済的理由から進学を悩む学生を支援し、学びを積み重ねていただくことが文化継承にも繋がる」と話している。「酒粕伝承プロジェクト」の賛同パートナーは随時募集していく。募金の状況は、同社ホームページから報告する予定だ。

【選評】（公益社団法人日本包装技術協会）「キャップの工夫により一定量を簡単に振り出すことができる」とともに、「出すき防止機能」により出すことも

「野沢菜漬」は平成29年度長野県農芸特産振興展、「特製わさび漬」は平成28年度長野県農芸特産振興展においてそれぞれ最高賞となる農林水産大臣賞に輝くなど、味わいへの評価は高い。業界に先駆けHACCAPを導入、衛生面でも

同社はわさび漬や野沢菜漬を中心に漬物製造を手掛

シク1位に

漬を中心とする漬物製造を手掛